「成田市有機農業実施計画に係る意向調査」
報告書

令和７年３月

成田市

目　次

Ⅰ　調査の概要…… 1
１．調査目的…… 1
２．調査の設計…… 1
３．報告書の見方…… 1

Ⅱ　調査結果…… 2
１．事業者向アンケート…… 2
２．消費者向アンケート…… 7
３．農業者向アンケート……18

Ⅰ　調査の概要

１．調査目的

本調査は、成田市が実施するみどりの食料システム戦略事業における成田市有機農業実施計画の策定に際し、市民への意向調査を目的とする。

２．調査の設計

	事業者向けアンケート	消費者向アンケート	農業者向アンケート
調 査 対 象	事業者 （商工会議所登録事業者）	18 歳以上の市民 （無作為抽出）	生産者（認定農業者）
調査対象数	252 件	1,081 件	267 件
回 収 結 果	76 件（30.2%）	371 件（34.3%）	106 件（39.7%）
調 査 方 法	郵送配布・郵送回収		
調 査 期 間	令和６年 10 月１日（火）～令和６年 10 月 31 日（木）		

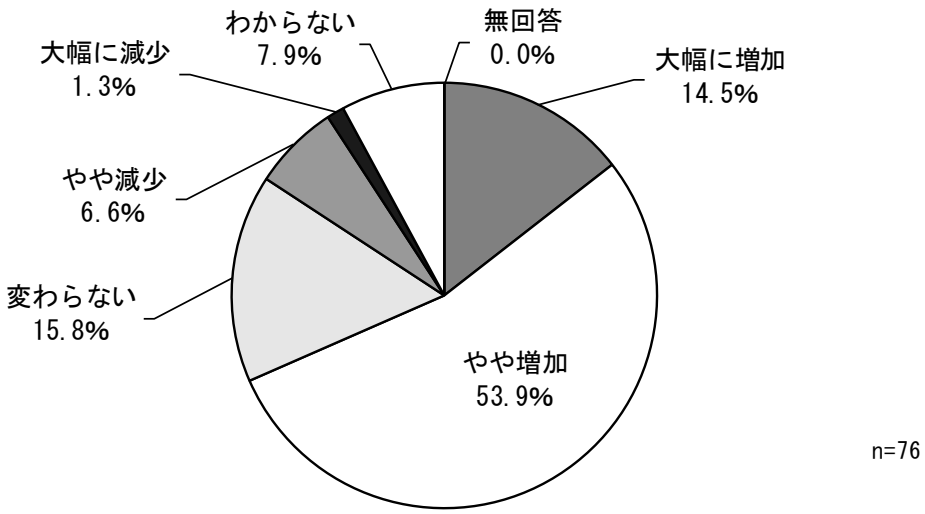
３．報告書の見方

（１）図表中の「ｎ」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると 100.0%を超える。
（２）調査結果の比率は、小数第２位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに 100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。
（３）図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。

Ⅱ　調査結果

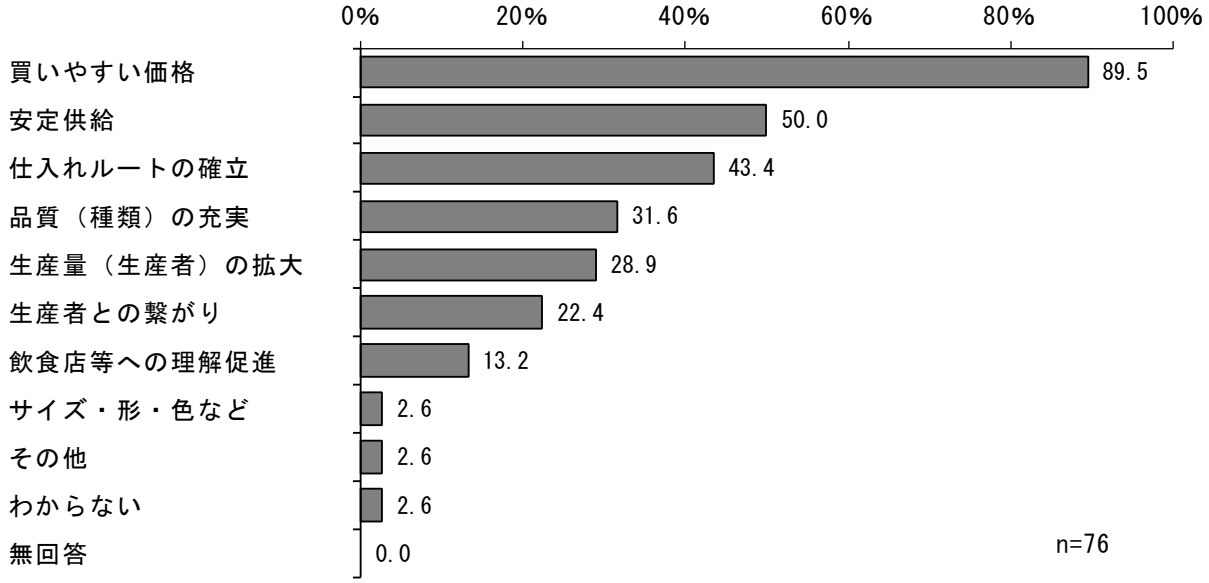
１．事業者向アンケート

問１　我が国全体として、今後有機農業により生産される農産物（以下、「有機農産物など」という。）の需要は増えていくと思いますか。



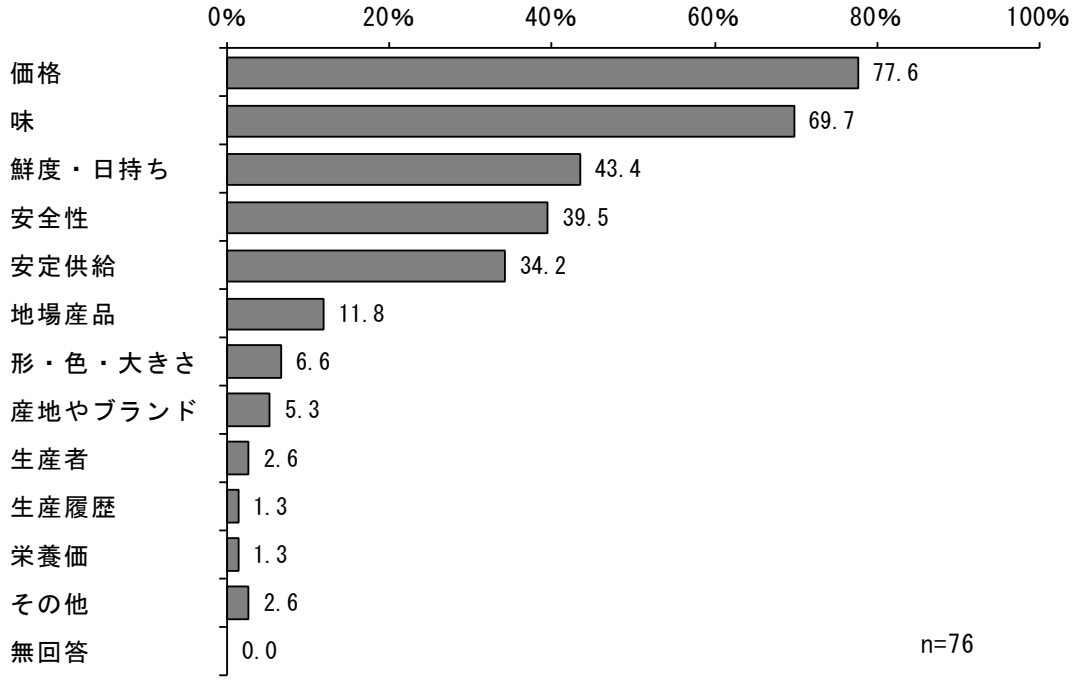
「やや増加」が 53.9%で最も多く、次いで「変わらない」（15.8%）、「大幅に増加」（14.5%）の順となっている。

問２　外食・中食産業において、有機農産物などの利用を促進するには、何が必要だと思いますか。主な理由を３つまでお選びください。



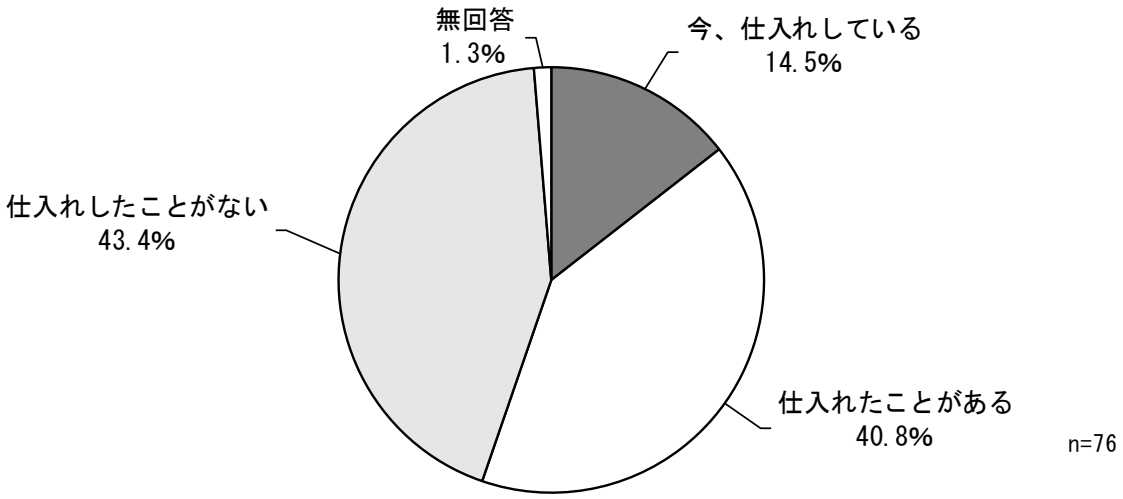
「買いやすい価格」が 89.5%で最も多く、次いで「安定供給」（50.0%）、「仕入れルートの確立」（43.4%）の順となっている。

問３　貴社で食材を選ぶ判断基準は何ですか。主な理由を３つまでお選びください。



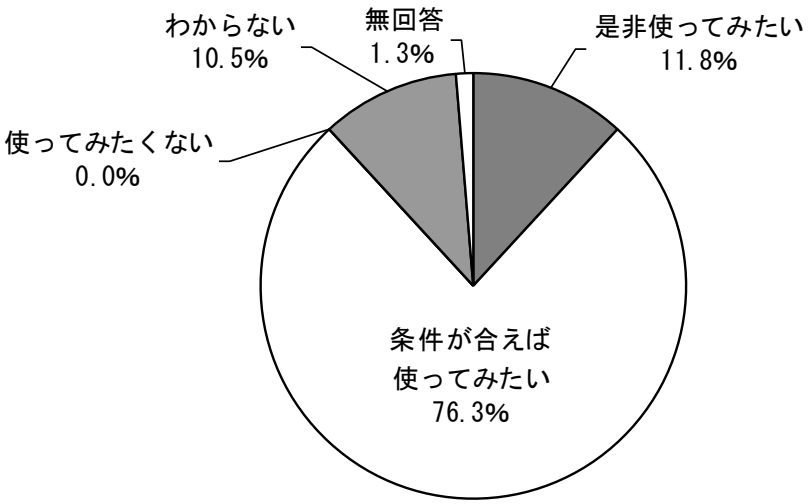
「価格」が 77.6%で最も多く、次いで「味」（69.7%）、「鮮度・日持ち」（43.4%）の順となっている。

問４　貴社では有機農産物などを仕入れたことがありますか。



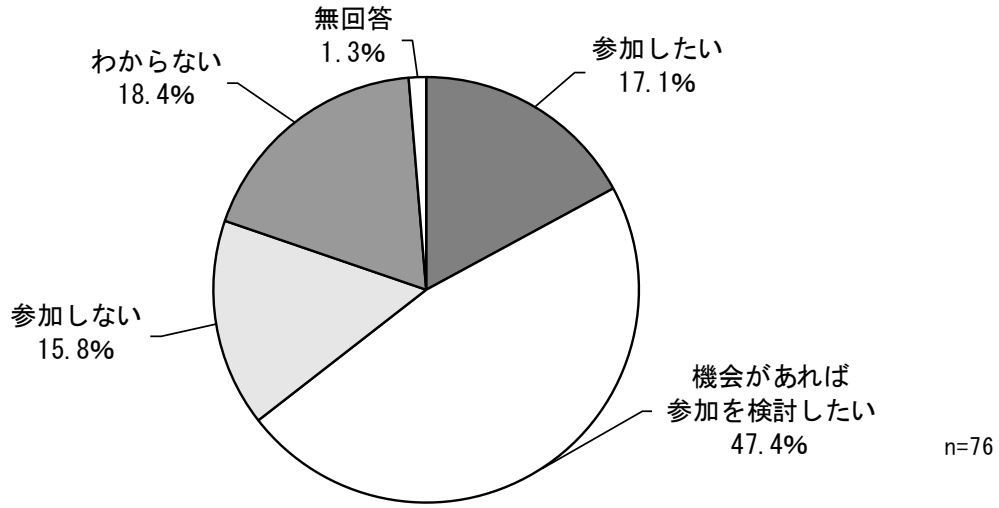
「仕入れしたことがない」が 43.4%で最も多く、次いで「仕入れたことがある」（40.8%）、「今、仕入れしている」（14.5%）の順となっている。有機農産物を仕入れたことがあるのは 55.3%となっている。

問５　今後、貴社では有機農産物などを使った商品（メニュー）を使ってみたいと思いますか。



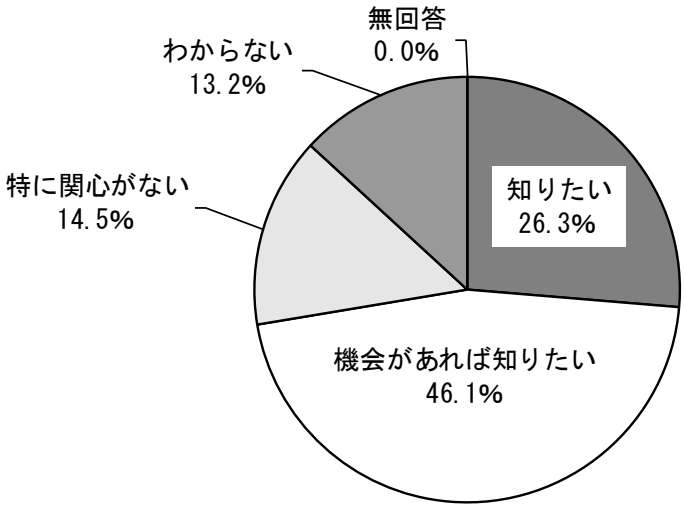
「条件が合えば使ってみたい」が 76.3％で最も多く、次いで「是非使ってみたい」（11.8％）、「わからない」（10.5％）の順となっている。有機農産物などを使ってみたいと思っているのは 88.2％となっている。

問６　成田市では、有機農業を推進していく予定ですが、有機農業生産者と実需者（飲食店・卸業者・加工業者など）との商談会などのマッチングの機会があれば参加してみたいですか。



「機会があれば参加を検討したい」が 47.4％で最も多く、次いで「わからない」（18.4％）、「参加したい」（17.1％）、「参加しない」（15.8％）の順となっている。

問７　成田市の有機農業や有機農業に取り組む生産者などの情報があれば、知りたいですか。



n=76

「機会があれば知りたい」が 46.1%で最も多く、次いで「知りたい」（26.3%）、「特に関心がない」（14.5%）、「わからない」（13.2%）の順となっている。情報を知りたいと思っているのは 72.4%となっている。

問８　有機農業や有機農産物などに関して、ご意見等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

26名より34件の意見が寄せられたので、一部を抜粋します。

【価格について（９件）】
・とにかく、市が有機農産物に力を入れて、安定した価格で品物を出荷できる状態ができれば、飲食店はなんでもできる様になると思います。（飲食業）
・やはり有機農産物が味も良く、健康にも良いのは分かっていても、価格が割高になるので、仕入れコストの点でなかなか難しいところ。（無回答）

【情報発信、ＰＲ（６件）】
・消費者、外食中食産業、小売業全てで、有機農産物を食材に利用するメリットを周知する。生産量、生産方法の問題もあり、価格が（現在）、多少高額になっても、その理由が知られていれば購入に踏み切れると思う。（無回答）
・どこで売っているのか分からないので、販売する時は、ポスターなどで知らせてほしいです。（飲食業・旅館）

【農業者への支援、課題解決（４件）】
・有機農産物は消費者のニーズは高いと思います。ただ、生産者は、「人手が足りない」、「栽培管理や手間がかかる」という意見もあるので、販路開拓はもちろん、生産における人手や手間の課題が大きいと思います。（ホテル業）

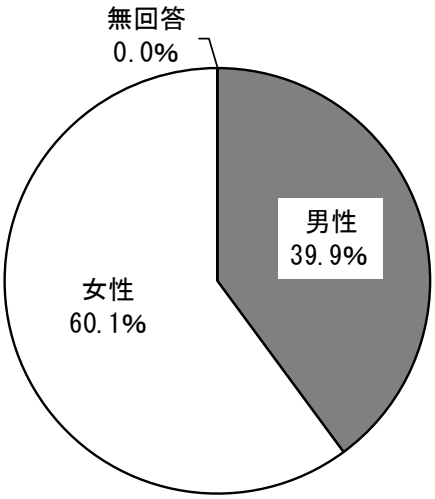
【品質管理について（４件）】
・虫等が付着することで、異物混入にならないかが心配です。（飲食業・卸し）

【市による支援（３件）】
・成田は農業が盛んで、野菜もとても美味しいので、市を上げて有機農業にもっともっと力を入れてくれると嬉しいです。（飲食業）

【販路拡大（２件）】【その他（６件）】

２．消費者向アンケート

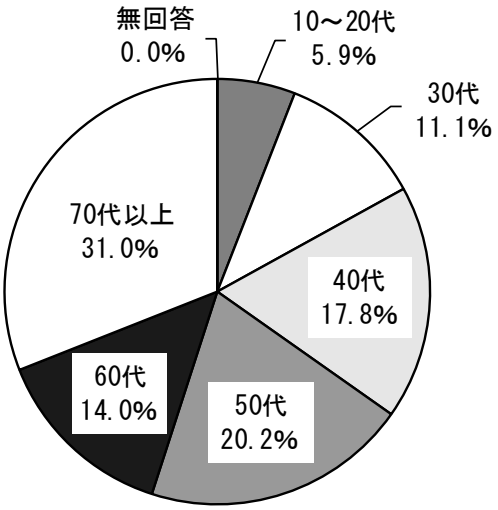
問１　あなたの性別を教えてください。



n=371

「女性」が 60.1%、「男性」が 39.9%となっている。

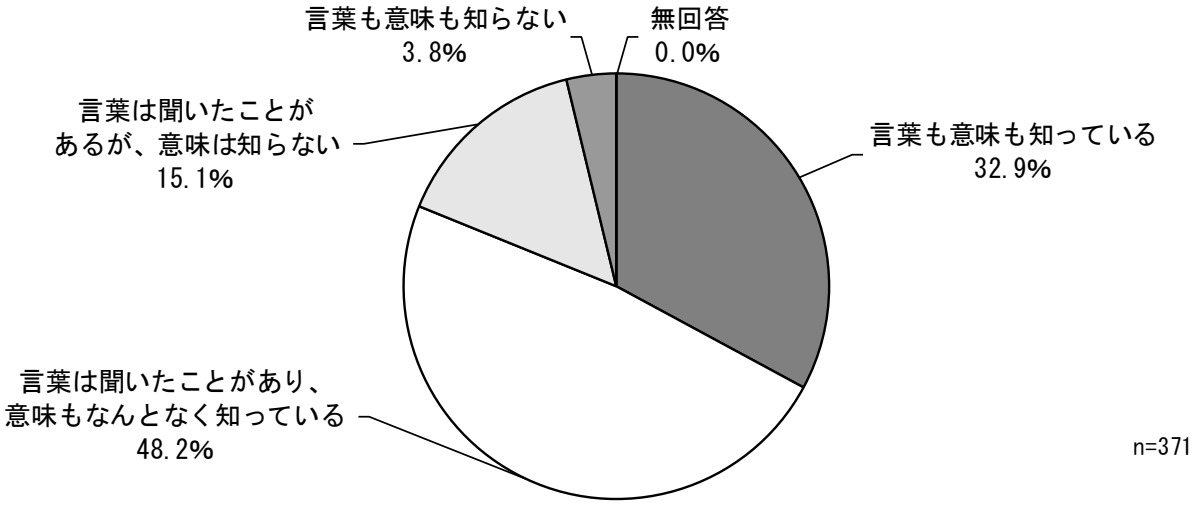
問２　あなたの年齢はどの年代ですか。



n=371

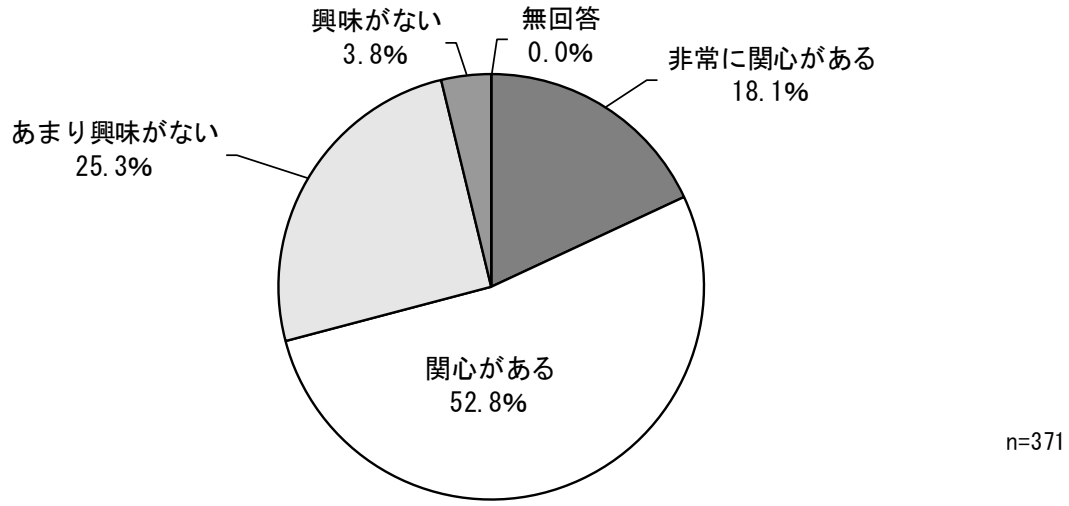
「70 代以上」が 31.0%で最も多く、次いで「50 代」（20.2%）、「40 代」（17.8%）の順となっている。

問３　有機農業という言葉を知っていますか。意味を理解していますか。



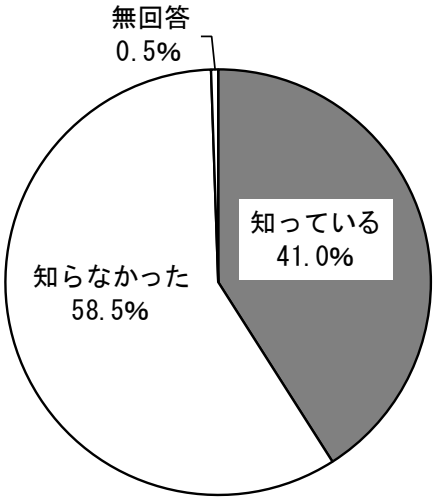
「言葉は聞いたことがあり、意味もなんとなく知っている」が 48.2%で最も多く、次いで「言葉も意味も知っている」（32.9%）、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」（15.1%）、「言葉も意味も知らない」（3.8%）の順となっている。有機農業という言葉を知っているのは 81.1%となっている。

問４　有機農業により生産される農産物（以下、「有機農産物など」という。）に関心はありますか。



「関心がある」が 52.8%で最も多く、次いで「あまり興味がない」（25.3%）、「非常に関心がある」（18.1%）、「興味がない」（3.8%）の順となっている。有機農産物などに関心があるのは 70.9%となっている。

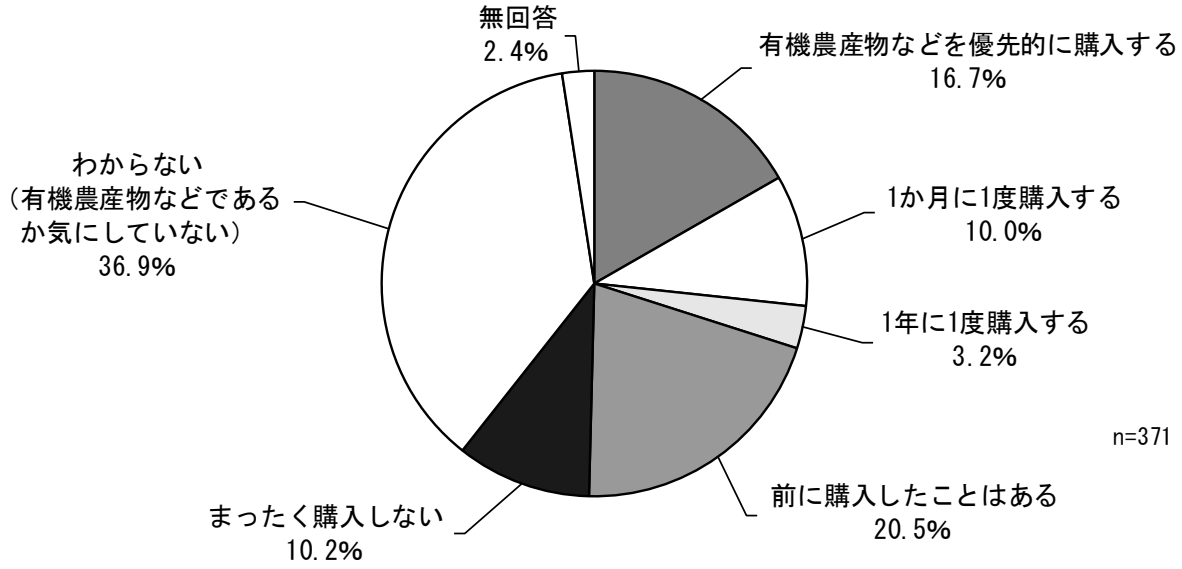
問５　成田市内で有機農産物などを生産していることを知っていますか。



n=371

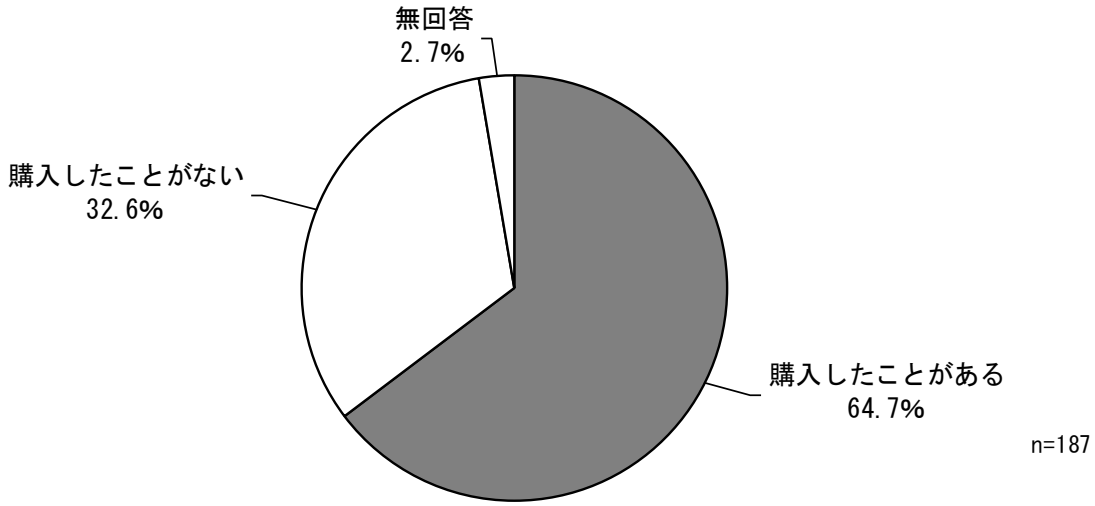
「知らなかった」が 58.5%、「知っている」が 41.0%となっている。

問６　あなたはどのくらいの頻度で有機農産物などを購入しますか。



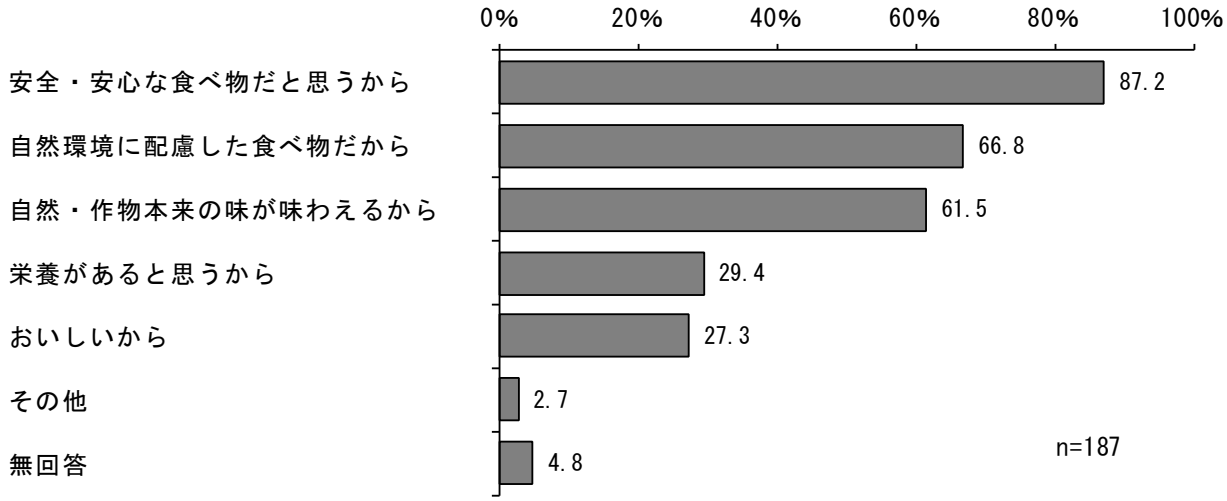
「わからない（有機農産物などであるか気にしていない）」が 36.9%で最も多く、次いで「前に購入したことはある」（20.5%）、「有機農産物などを優先的に購入する」（16.7%）の順となっている。有機農産物などを購入しているのは 50.4%となっている。

【問６で有機農産物などを購入する（①～④）と回答した方】
問７　成田市産の有機農産物などを購入したことがありますか。



「購入したことがある」が 64.7%、「購入したことがない」が 32.6%となっている。

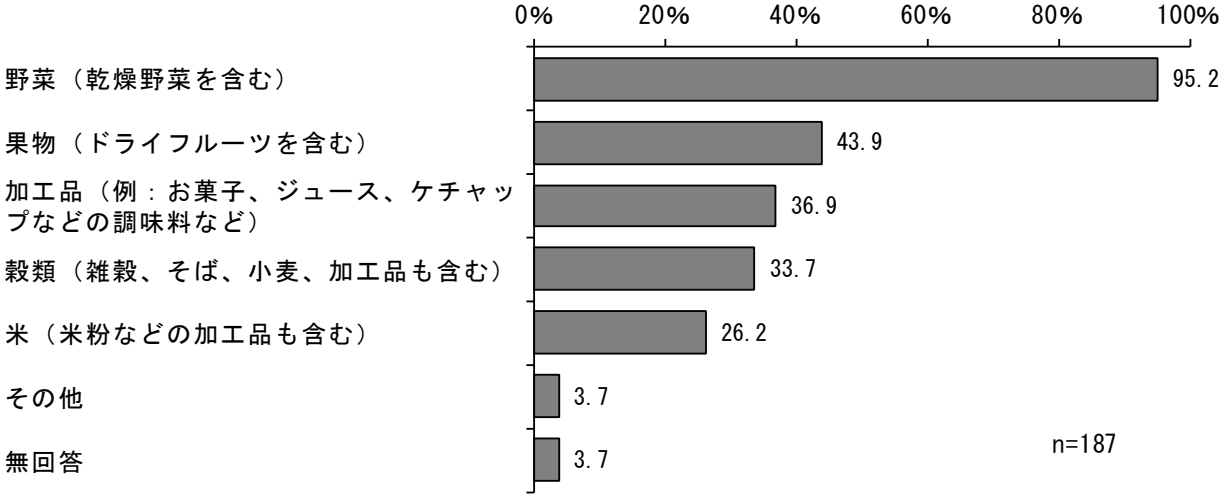
【問６で有機農産物などを購入する（①～④）と回答した方】
問８　有機農産物などを購入している（購入したことがある）場合は、購入理由を３つお選びください。



「安全・安心な食べ物だと思うから」が 87.2%で最も多く、次いで「自然環境に配慮した食べ物だから」（66.8%）、「自然・作物本来の味が味わえるから」（61.5%）の順となっている。

【問６で有機農産物などを購入する（①～④）と回答した方】

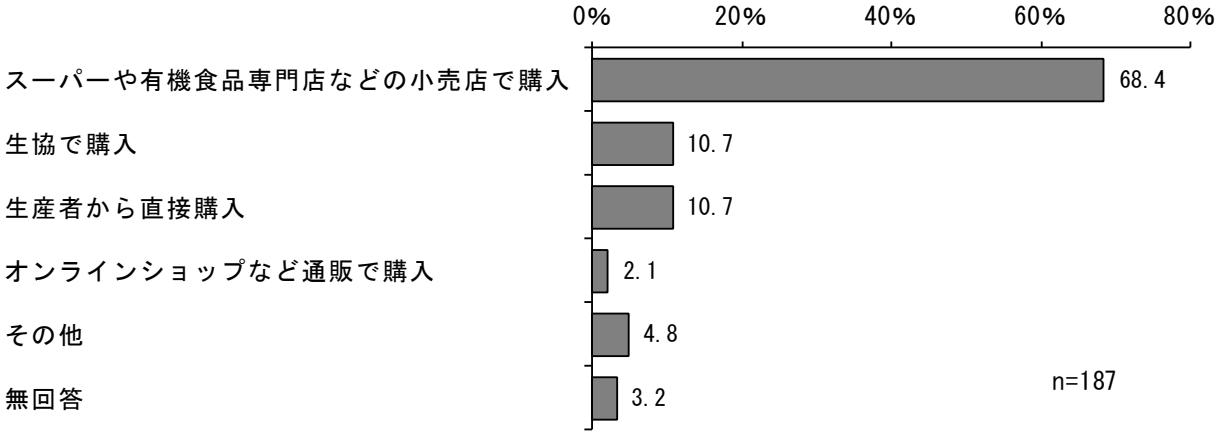
問９　有機農産物などを購入している（購入したことがある）場合は、どのような品目を購入していますか。当てはまるものすべてを選んでください。



「野菜（乾燥野菜を含む）」が 95.2％で最も多く、次いで「果物（ドライフルーツを含む）」（43.9％）、「加工品（例：お菓子、ジュース、ケチャップなどの調味料など）」（36.9％の順となっている。）

【問６で有機農産物などを購入する（①～④）と回答した方】

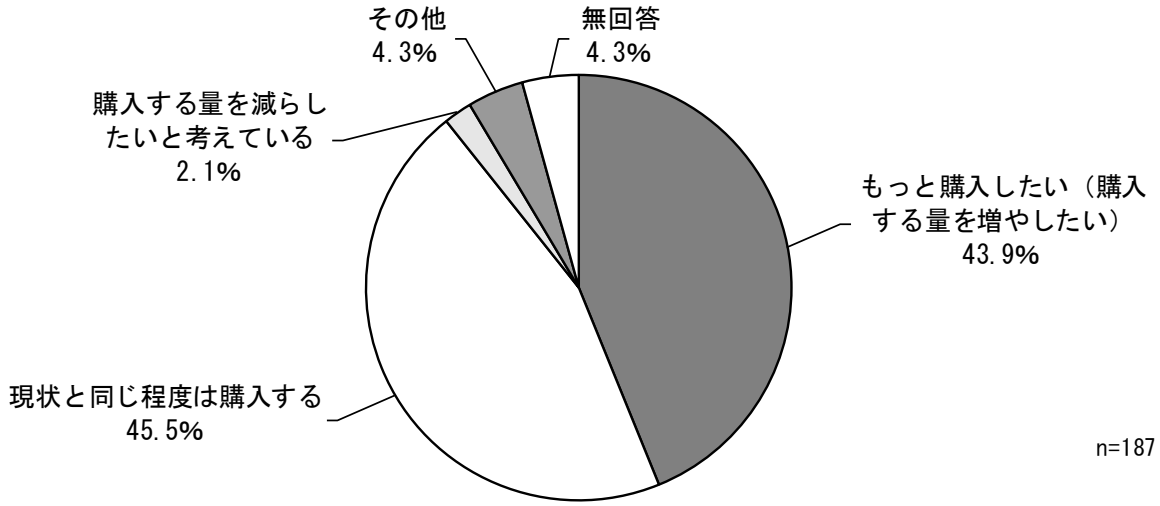
問 10　どのような経路で有機農産物などを購入していますか。（購入したことがありますか。）



「スーパーや有機食品専門店などの小売店で購入」が 68.4％で最も多く、次いで「生協で購入」「生産者から直接購入」（各 10.7％）、「オンラインショップなど通販で購入」（2.1％）の順となっている。

【問６で有機農産物などを購入する（①～④）と回答した方】

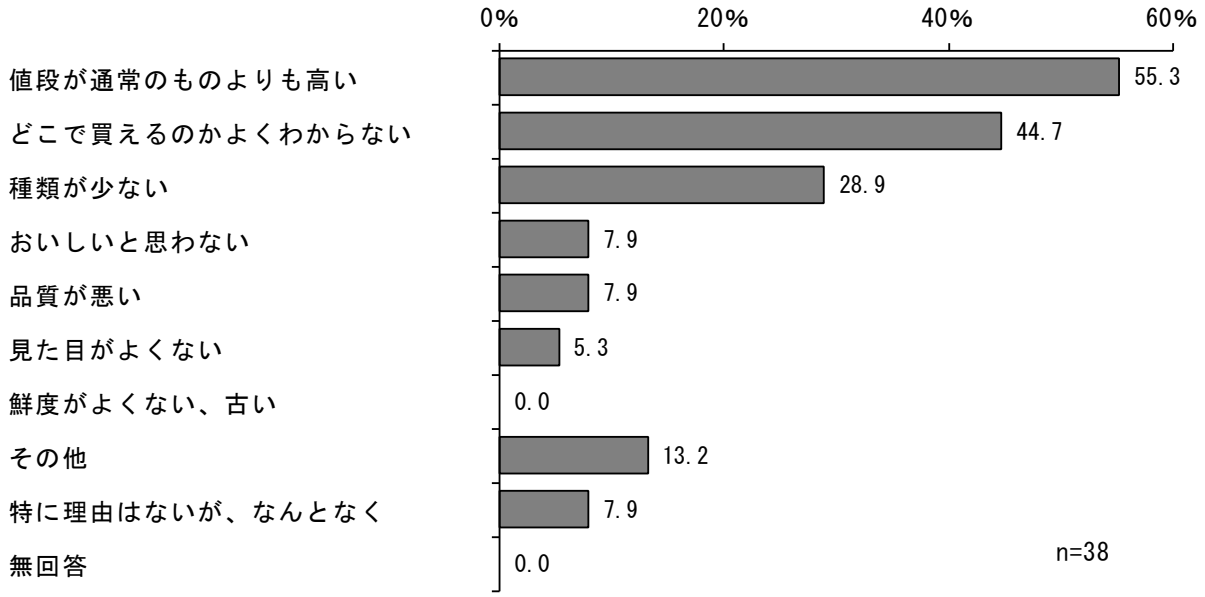
問11　今後も有機農産物などを購入したいと思いますか。



「現状と同じ程度は購入する」が 45.5%で最も多く、次いで「もっと購入したい（購入する量を増やしたい）」（43.9%）、「購入する量を減らしたいと考えている」（2.1%）の順となっている。

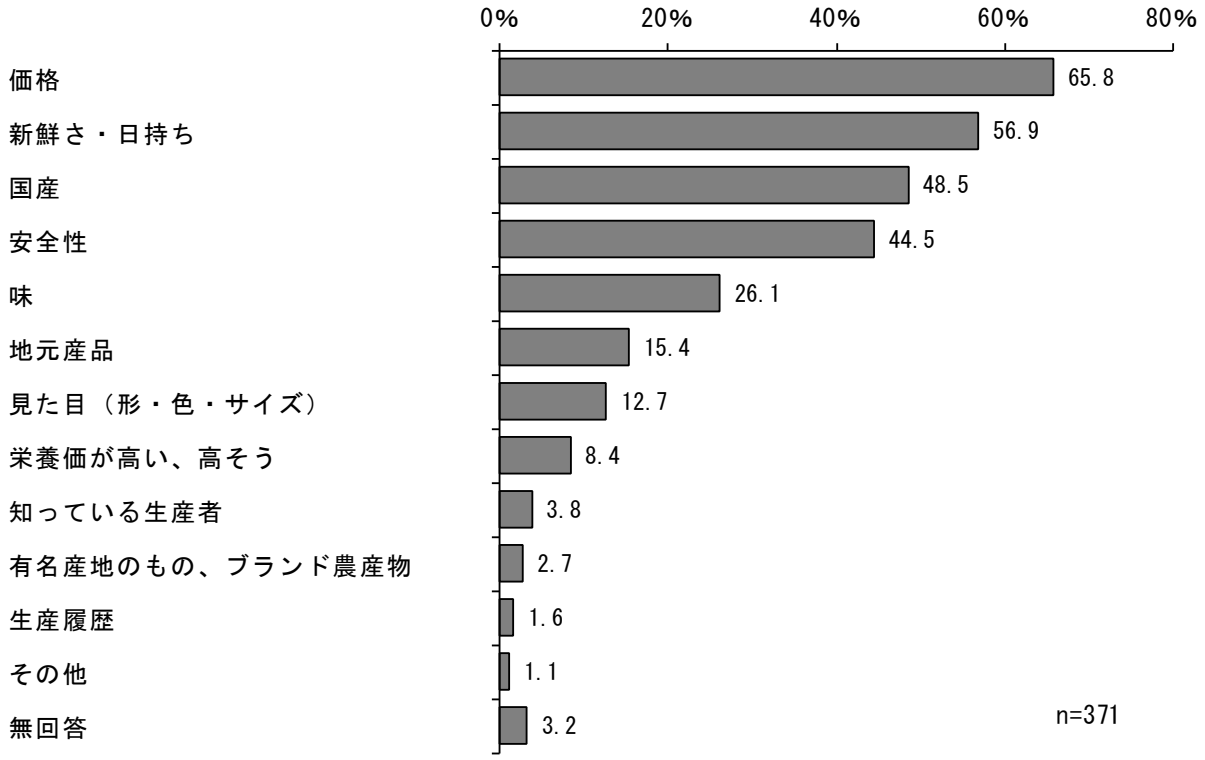
【問６で有機農産物などをまったく購入しない（⑤）と回答した方】

問12　有機農産物などを購入していない場合は、その理由をお聞かせください。
　　理由を３つまでお選びください。



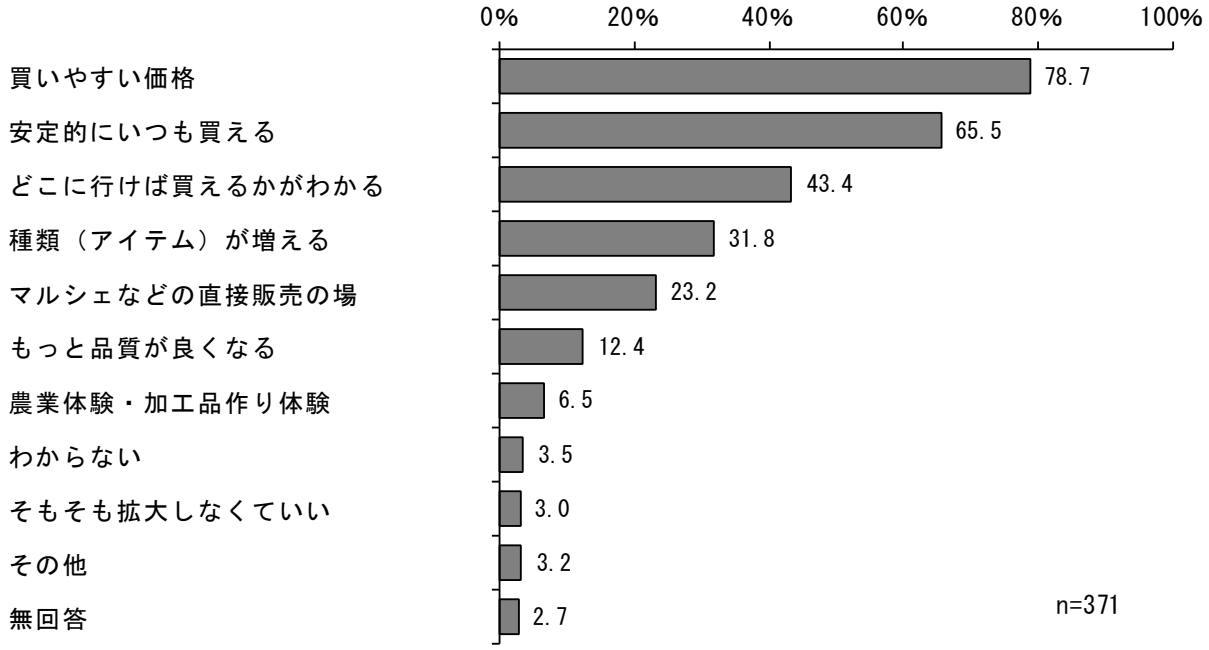
「値段が通常のものよりも高い」が 55.3%で最も多く、次いで「どこで買えるのかよくわからない」（44.7%）、「種類が少ない」（28.9%）の順となっている。

問13　農産物を選ぶ場合は何を判断基準にしていますか。理由を３つお選びください。



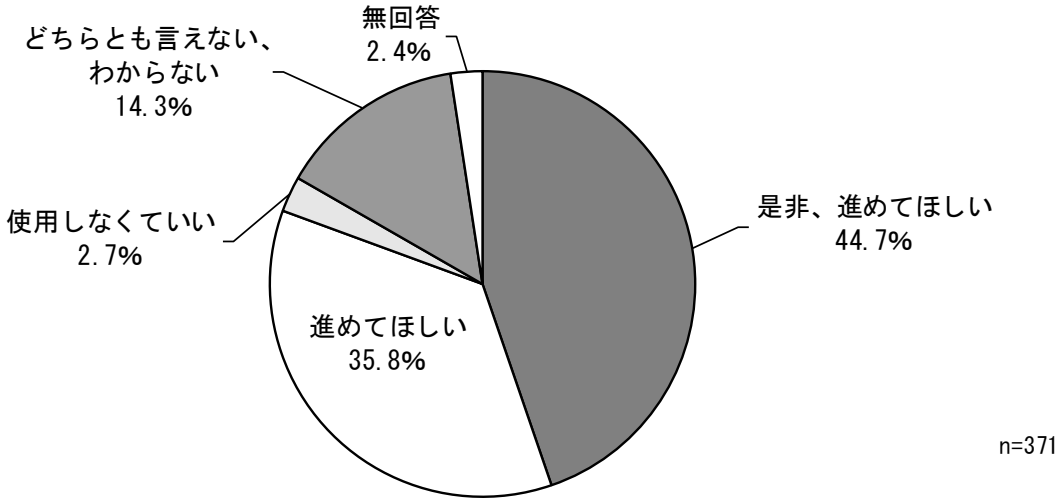
「価格」が65.8%で最も多く、次いで「新鮮さ・日持ち」（56.9%）、「国産」（48.5%）の順となっている。

問14　今後、有機農産物などが消費拡大するためには、どのようなことをすればよいと思いますか。理由を３つまでお選びください。



「買いやすい価格」が 78.7％で最も多く、次いで「安定的にいつも買える」（65.5％）、「どこに行けば買えるかがわかる」（43.4％）の順となっている。

問15　市内学校給食における有機農産物などの活用について、どのように思いますか。



「是非、進めてほしい」が 44.7％で最も多く、次いで「進めてほしい」（35.8％）、「どちらとも言えない、わからない」（14.3％）、「使用しなくていい」（2.7％）の順となっている。市内学校給食に有機農産物などの活用を進めてほしいと考えるのは 80.6％となっている。

問16　有機農業や有機農産物などに関して、ご意見等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

112名より160件の意見が寄せられたので、一部を抜粋します。

【情報発信、ＰＲ（26件）】
・地元の有機農産物の宣伝に力を入れてほしい。（男性／70代以上）
・価格に対する努力と世間へのアピールが少ないと思う。（女性／60代）
・消費者が良く目にする広告（チラシ）、メディアなどに情報提供していってほしい（分かりやすく）。（女性／70代以上）
・成田市の有機農産物は個人的にまだ認知度は低い方かと思われるので、認知される取り組みや、どこで買えば分かる（場所）、価格と種類が整えば、消費者も買いやすいと思います。身近な有機農業を広めるには、SNSやインターネット、広告、みんなが見やすい、触れやすい環境が必要だと思います。（女性／30代）
・安く買えるのもありがたいのですが、なぜ高いのか、消費者に伝える工夫もぜひお願いします！（生産者、小売の方の意見もぜひ聞いてほしいです！）（女性／40代）

【販路・消費拡大（23件）】
・虫がつかないハウスで作った野菜が、安く買えるイベントがあると嬉しい。特に生で食べる野菜。（女性／60代）
・給食に使われているなら安心でき、一般人も認知するようになり、消費拡大につながるのではないだろうか。（女性／60代）
・有機農産物を売るファーマーズマーケット等が、成田市内中心部で週末等に定期的に行われるのなら、是非買いに行きたいです。スーパーでは見つけられない伝統野菜や西洋野菜も、農家さんが小ロットで作っていると思うので、そういうものを購入したいです。（女性／40代）
・地元ブランドの野菜、ザ・成田の野菜があるとうれしいし、買いたくなります。（男性／50代）
・新鮮で無農薬の物が種類が豊富であれば、もっとシンプルな形で美味しく食べさせたいな…と。成田で作っている物だよ！と子どもに伝えれば、もっと食べてくれそうな気がします。成田産の有機野菜のイベントがあったら、家族で行ってみたいな…と。海外の方も多いまちなので、こういった野菜のイベントがあったら、日本の（成田の）野菜にもっと興味がわいてくれそうな気がします！（女性／30代）

【食の安全について（18件）】
・詳しいことは知らないが、安全安心の食糧供給には大賛成です。日本の将来がかかっているので、是非進めてほしいです。（男性／70代以上）
・安全・安心な有機農産物がお手頃価格で店頭に沢山並ぶ日を楽しみにしています。（女性／50代）
・有機農業は肥料や農薬をJAS規格に認められれば使用している点で、100％安心ではないと感じている。（女性／70代以上）
・有機肥料を使うことも良いと思いますが、無農薬（減農薬）であることが特に素晴らしい事だと思います。（男性／60代）

【価格について（18件）】
・普段忙しく生活しており、農作物の購入は価格が決め手です。（物価が色々と上昇もしていますし）。が、生協で有機のものも、それ程高くなければ買ったりもしています。（女性／50代）
・食の安全面から生産を進めてほしいが、経済面から消費者の手の届く様にしなければならないと思う。（女性／60代）
・価格も安心、安全を買うなら少々高くてもと思うけど、継続して購入するのは難しいのが残念…。（女性／40代）
・価格及び安定的に購入できる様補助金等の拡大を望む。（女性／70代以上）

【食育、給食、農業体験などについて（17件）】
・学校給食に取り入れ、子ども達に有機農産物をもっと広げてほしい。（男性／70代以上）
・生きていく上で食は本当に大事。子どもの頃の経験は非常に大きく作用すると考えます。（女性／70代以上）
・学校の課外授業で有機野菜の収穫体験をさせる。そして食べてもらう（宿泊学習の時にやって、調理して食べると楽しそう）。（女性／30代）
・成田市の学校給食は、天然だし使用と聞きました。野菜も有機のものを積極的に取り入れてほしいです。（女性／60代）

【生産性向上、安定供給（17件）】
・JASの商品を基本購入しています。もっと種類も増えて、地産地消ができるくらいに成田市のJAS商品が増える事を希望しています。食べ物は明日の命につながります。品質にこだわりたいです。（女性／40代）
・人手不足や高齢化で生産を増やすのは容易ではないと思います。未来を担う小中学生の給食に、まず活用してほしいです。（女性／70代以上）
・有機農産物は安全で味が良いと思います。健康のためにももっともっと生産性を高めてほしいです。（女性／70代以上）

・気候変動が毎年厳しくなるこの頃です。食べるために生産された農作物は、規格外でも廃棄しないで安く販売するなどして、消費者に届けられる物流システムを考えてほしいです。（男性／50代）

【農業者への支援（13件）】
・有機農業に反対も賛成もしていませんが、生産者が安定、安心して生産できる仕組みが必要です。有機農業や無農薬にはコストがかかるので、対価がいります。（男性／40代）
・国や市の補助金を充実させ、生産者が増えれば価格（消費者の出費）も下がり、相互利益になるのでは？（女性／40代）
・有機農業者に国や市町村から補助金を出して、有機農業を振興してほしい。（男性／70代以上）
・有機農法されている農家の方が、有機農産物を今より安価で出荷できるようになれば良いと思う（消費者側としては）。（女性／60代）

【（有機）農業への理解、知識向上（12件）】
・もっと勉強して、有機農業や有機農産物のことを知りたいと思います。（男性／50代）
・今回この調査で、有機だけがそんなにいいのかなあ…？とちょっと考えてしまいました。有機の良さって？化学肥料ってそんなに悪いの？などなど…（女性／50代）
・売り場で、割高で見た目の良くない有機農産物と、安価で見た目もそれ程悪くない普通の農産物が並んでいたら、大多数の人が後者を選ぶと思う。ただ、近年は多少高くても商品の特殊性を理解してもらえれば、購入に前向きな人もいると思う。（男性／60代）
・実際には生産の現場で働いている農家の意見や考えを最優先にしていくべきだと思うし、農薬が悪という考え方は間違いだと思う。どれ程厳しい基準で、どれ程農家が気を使って薬を使っているか、という点をもっと周知させていくべきだと思う。

【品質向上（５件）】
・自分が有機作物を選択的に購入するには、金額と品数、品種のバランスを考えると、決定打に欠けています。もっとすごく美味しいとか、通常品と比べ栄養価が高いとか、安全性＋αがもっとほしいです。（女性／50代）

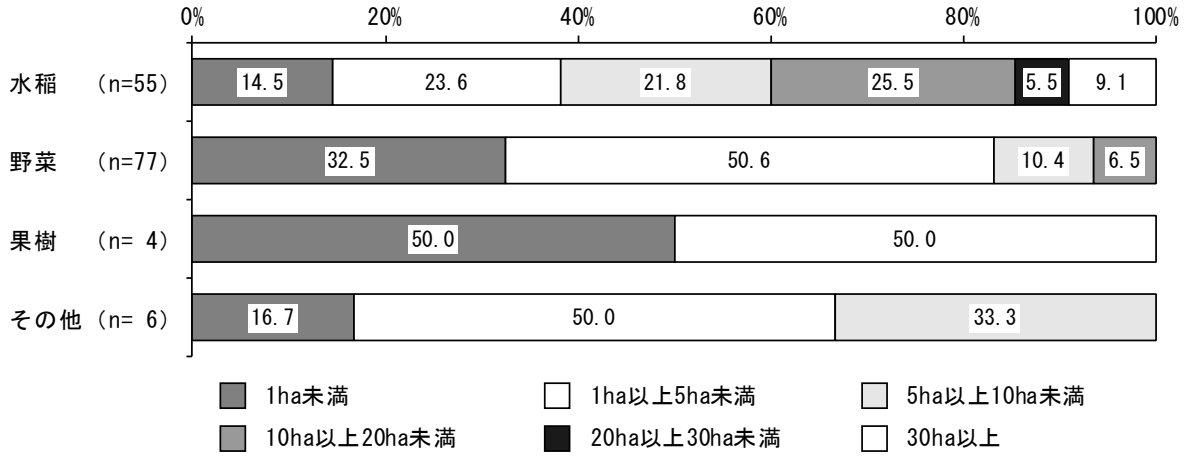
【偽装対策（４件）】
・農産物等の食品については、産地偽装があったり、普通の生産物を偽って有機生産物として販売するような悪質な業者もいることから、有機生産物として耕作者の氏名や農法を明確にし、信頼できる場所で販売することが必要。（男性／70代以上）

【有機農業のみの推進に疑問（５件）】
・この調査では有機に特定した質問ですが、個人的には従来型農業も否定するものではありません。食の安全保障の観点から、バランスよく両立して頂けたらと存じます。（男性／50代）
・健康や環境にいいのは嬉しいが、あまりたくさんのコストをかけてまでの必要性は感じない。バランスが取れているならいいと思います。（女性／40代）
・生産方式を限定しないことで、余計なことをして環境に負荷を与えることもある。自治体が音頭を取って、取り組むべき事業ではないと考える。（男性／30代）

【その他（２件）】

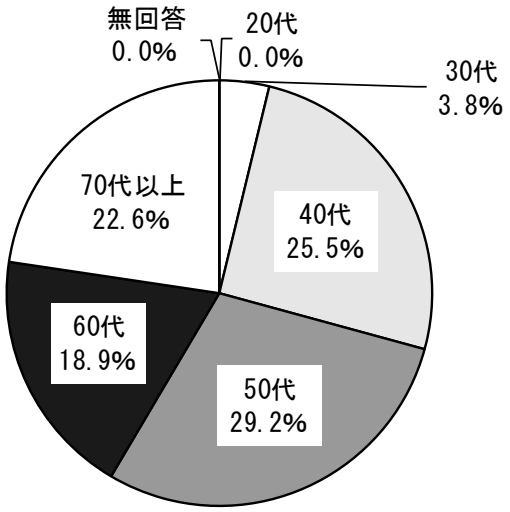
３．農業者向アンケート

問１　現在、営農されている面積を大まかな分類別に教えてください。



『水稲』については、「10ha 以上 20ha 未満」が 25.5％で最も多く、次いで「1ha 以上 5ha 未満」（23.6％）、「5ha 以上 10ha 未満」（21.8％）の順となっている。
『野菜』については、「1ha 以上 5ha 未満」が 50.6％で最も多く、次いで「1ha 未満」（32.5％）、「5ha 以上 10ha 未満」（32.5％）の順となっている。

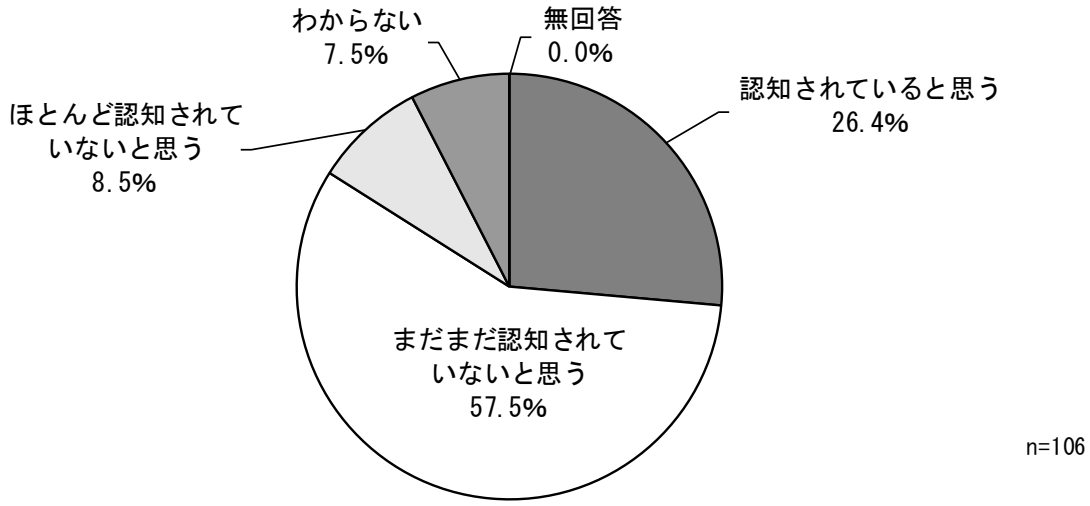
問２　経営主（主に農業に従事されている方）の年齢はどの年代ですか。



n=106

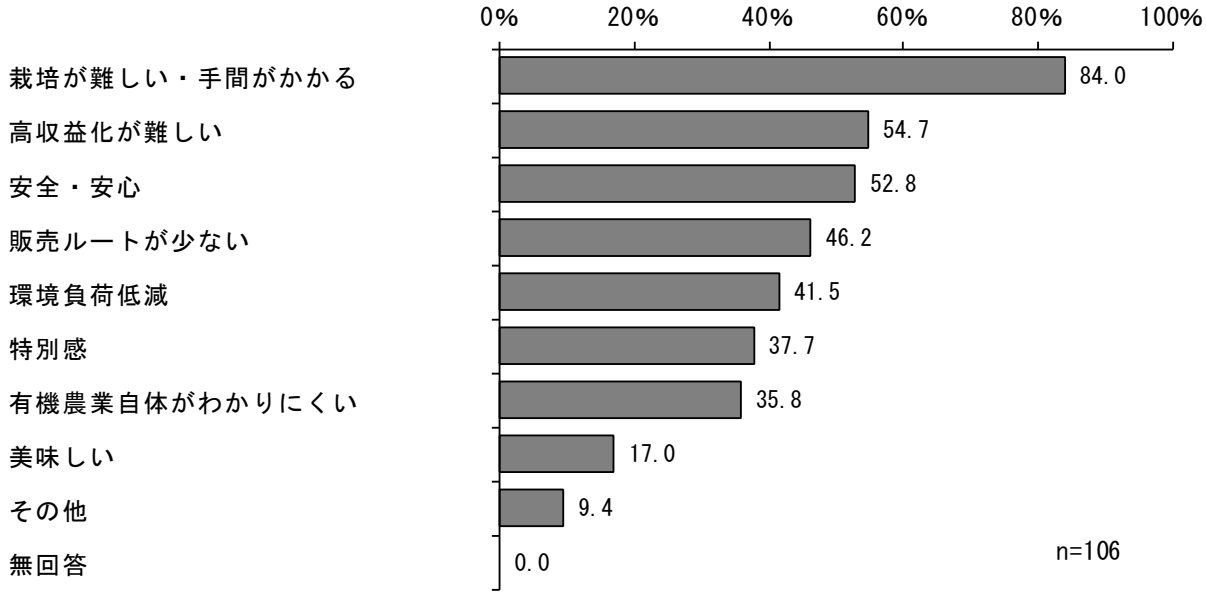
「50 代」が 29.2％で最も多く、次いで「40 代」（25.5％）、「70 代以上」（22.6％）の順となっている。

問３　有機農業や有機農業により生産される農産物（以下、「有機農産物など」という。）は、一般的に認知されていると思いますか。



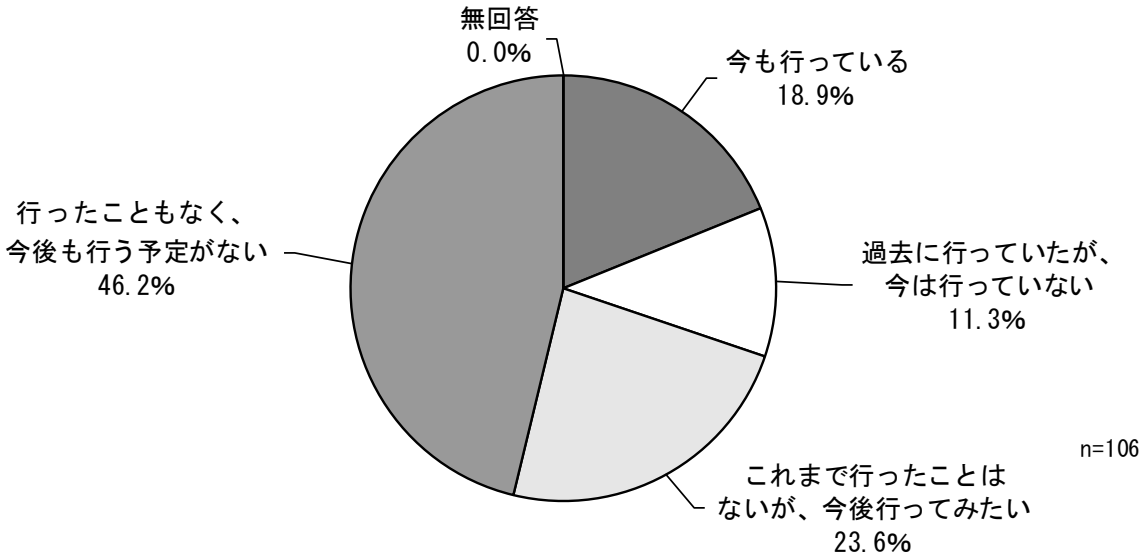
「まだまだ認知されていないと思う」が 57.5％で最も多く、次いで「認知されていると思う」（26.4％）、「ほとんど認知されていないと思う」（8.5％）、「わからない」（7.5％）の順となっている。

問４　有機農業や有機農産物などに対してどのようなイメージを持っていますか。
（複数選択可）



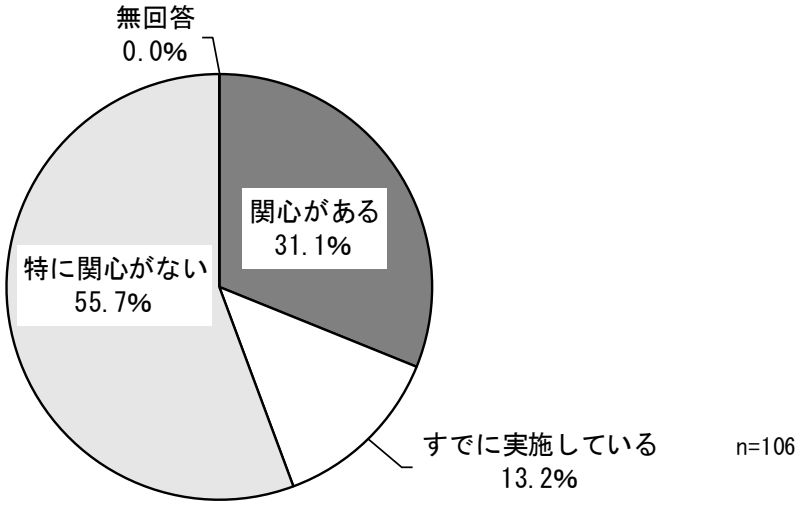
「栽培が難しい・手間がかかる」が 84.0％で最も多く、次いで「高収益化が難しい」（54.7％）、「安全・安心」（52.8％）の順となっている。

問５　ご自身（又は所属の団体）で、これまでに「有機農業の取組」を行ったことがありますか。



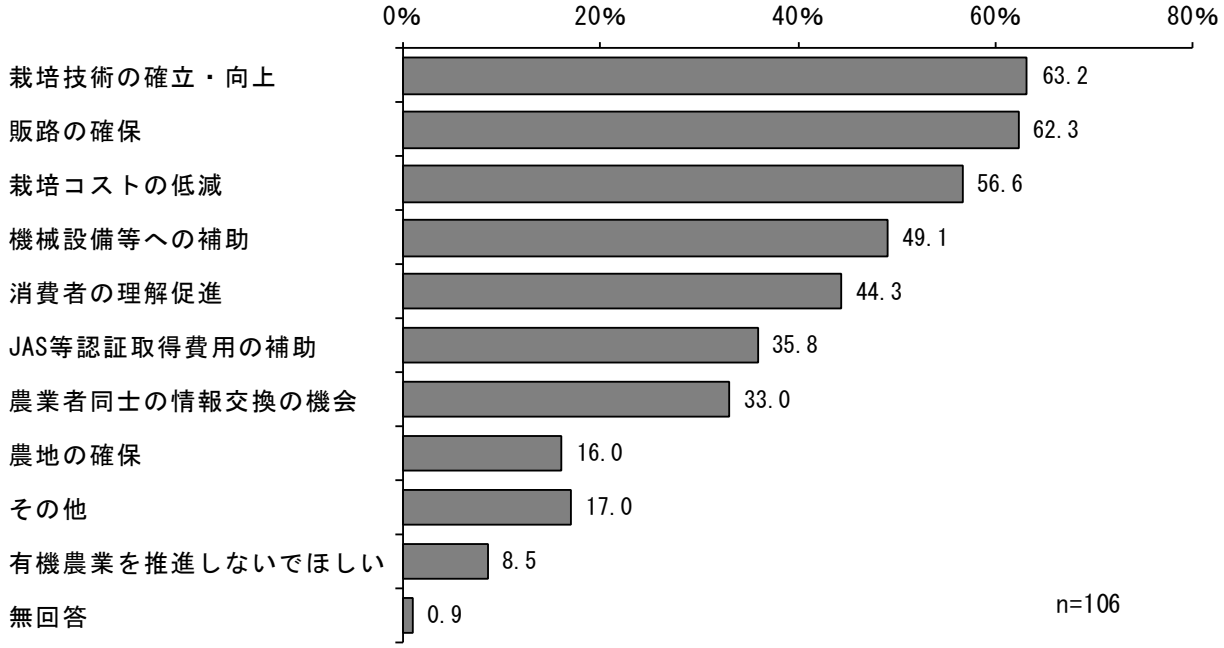
「行ったこともなく、今後も行う予定がない」が 46.2%で最も多く、次いで「これまで行ったことはないが、今後行ってみたい」（23.6%）、「今も行っている」（18.9%）、「過去に行っていたが、今は行っていない」（11.3%）の順となっている。取組の経験があるのは 30.2%となっている。

問６　今後、成田市は有機農業も推進していく予定ですが、有機農業の推進に関心はありますか。



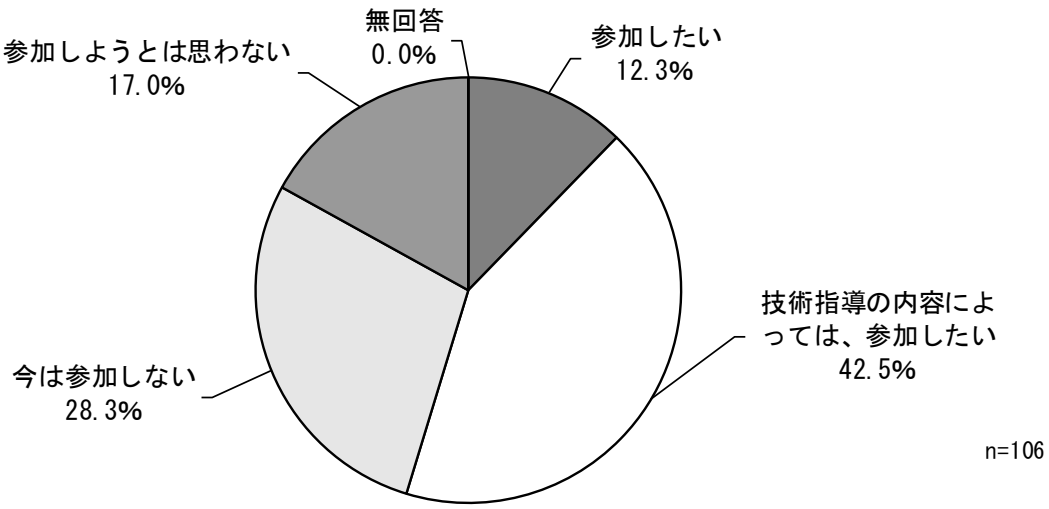
「特に関心がない」が 55.7%で最も多く、次いで「関心がある」（31.1%）、「すでに実施している」（13.2%）の順となっている。

問７　有機農業を推進するために必要と思われることは何ですか。（複数選択可）



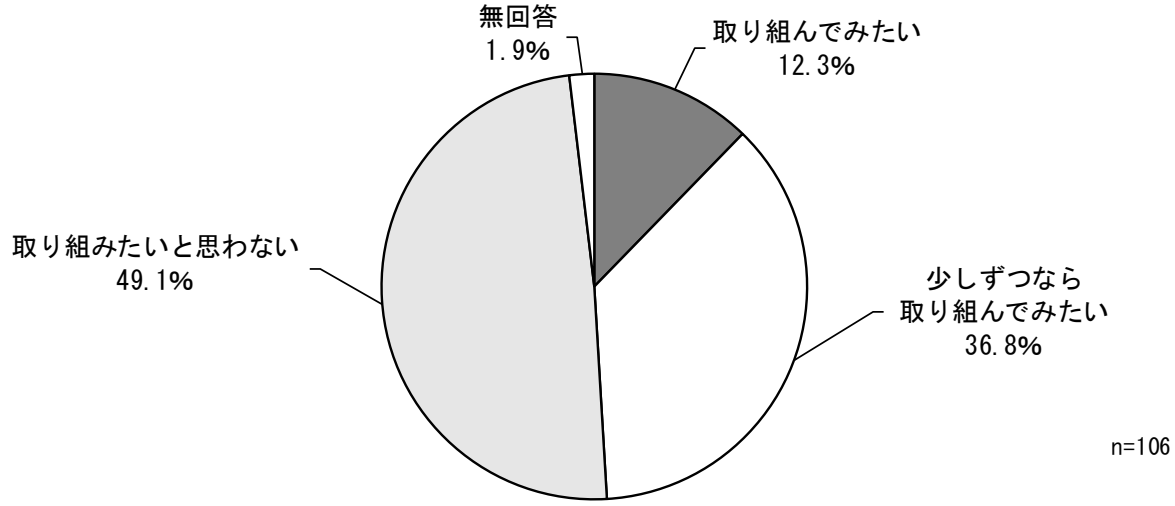
「栽培技術の確立・向上」が 63.2%で最も多く、次いで「販路の確保」（62.3%）、「栽培コストの低減」（56.6%）の順となっている。

問８　有機農業や減農薬・減化学肥料の栽培技術指導の機会があれば、参加したいと思いますか。



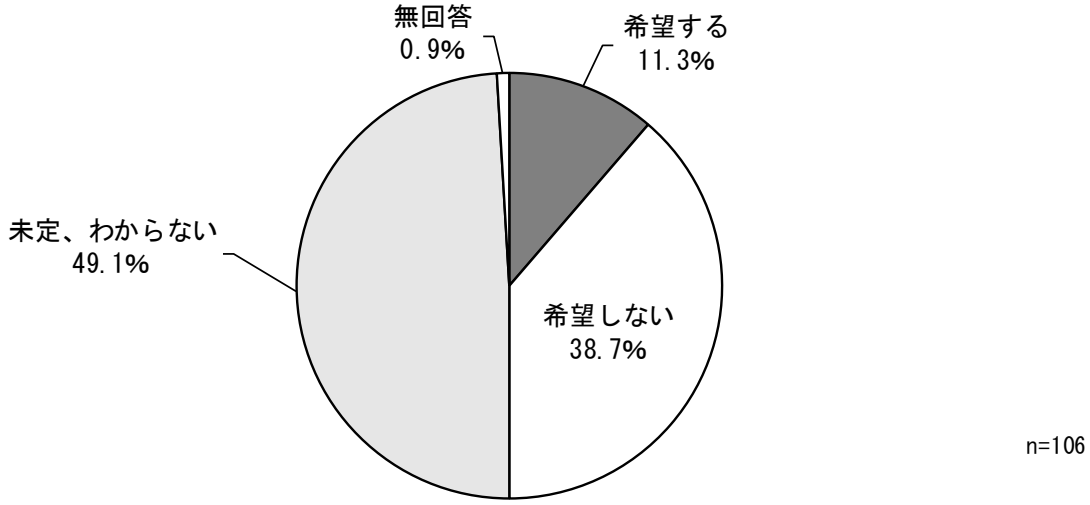
「技術指導の内容によっては、参加したい」が 42.5%で最も多く、次いで「今は参加しない」（28.3%）、「参加しようとは思わない」（17.0%）、「参加したい」（12.3%）の順となっている。参加を希望、もしくは検討しているのは 54.7%となっている。

問９　成田市の学校給食における有機農産物などの活用拡大を検討していますが、学校給食など具体的な販路支援やマッチングの機会があれば有機農業に取り組みたいと思いますか。



「取り組みたいと思わない」が 49.1％で最も多く、次いで「少しずつなら取り組んでみたい」（36.8％）、「取り組んでみたい」（12.3％）の順となっている。

問 10　生産者を対象とした有機農業研修会を 12 月 19 日（木）に開催する予定です。研修会への参加を希望しますか。（開催案内を同封しておりますので、詳細はご確認ください。）



「未定、わからない」が 49.1％で最も多く、次いで「希望しない」（38.7％）、「希望する」（11.3％）の順となっている。

問11　有機農業に関して、ご意見等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

34名より47件の意見が寄せられたので、一部を抜粋します。

【農業者の収益向上（７件）】
・付加価値を価格転嫁できれば、有機農業はアリと思います。みんな、お金のための農業経営ですから。（無回答）
・一番大事なのは利益がどうなるか？現在も様々な資材が高騰する中、生活できる環境を維持できるのか心配。（野菜）

【有機農業の定義について（５件）】
・堆肥を併用している生産者も、有機に加えるべき。（無回答）
・香取西部園芸部に所属しているのですが、この組織に有機を取り込んでも…と思ってしまいます。低農薬、低化学肥料であれば入口は広がるかな、と思います。（野菜）

【品質管理について（５件）】
・かんしょに関しては、有機だとネマ等の虫害が多くなるイメージがあります。形状が良い芋を取るためには、難しいと思う。（野菜）
・高品質な作物を作るのが難しい。（野菜）

【希望する支援策（５件）】
・有機農業のための機械導入補助をお願いしたい。（その他）
・農家向けに、雇用や研修生受け入れのサポートがあれば、規模の拡大に取り組みやすいのではないかと思います。（野菜）

【有機農業に取り組んでいる、取り組んでみたい（５件）】
・成田市内の稲作農家とさつまいも農家が連携し、籾殻や米ぬかを有機肥料として活用できたら良いと思います。（野菜）
・有機農業を始めたいのですが、メインの田圃が花火大会の会場、打ち上げ場所になっているため、有機栽培できるか心配。打ち上げ場所の土壌検査をお願いしたい。（水稲）

【生産性向上、安定供給（４件）】
・生産性の向上を国として進めている一方で、有機だと生産性が落ちると思われるが、技術の確立はされているとは思えない。生産性向上、農家賃金向上を有機農業で成し得るのであれば、方法を知りたい。（水稲）
・有機農産物の学校給食について、有機農産物の安定供給ができるのか疑問です。高収入を目指すあまり、購入単価の高い業者が出てきたり、世間相場が高くなった場合、学校給食に出荷せず流してしまう生産者が出てくるのではないでしょうか？（野菜）

【有機農業推進に反対（３件）】
・耳障りの良い言葉でだまされている様な気持ちになります。トレイサビリティをしっかり推進していく方が大切だと思います。慣行栽培をできない人に野菜を作る事はできないと思います。（野菜）

【周囲への影響（３件）】
・当地の無農薬栽培者の圃場は、田畑とも隣地で、田のカメムシ防除で有機の田への飛来は少なくなるが、逆に隣地の田圃に防除効果が薄れ、被害が多い。畑、田も管理が行き届かず、病虫害の発生源となっている。（水稲、野菜）

【慣行農業のイメージ悪化（３件）】
・有機は善、化学は悪の様なイメージがあるが、必ずしも有機が安全、安心、美味しいというのは間違った認識だと、声を大にして伝えたい。（水稲、野菜）

【認証手続きについて（２件）】【販路拡大（２件）】【その他（３件）】